

クラッチ

この記事は、米ボウリング雑誌『Bowling This Month』の許可を得て、翻訳・掲載しております。本記事の著作権は発行元の Joshua Sports & Entertainment, Inc. に帰属し、許可なく転載・複写・転送等することは禁止されております。

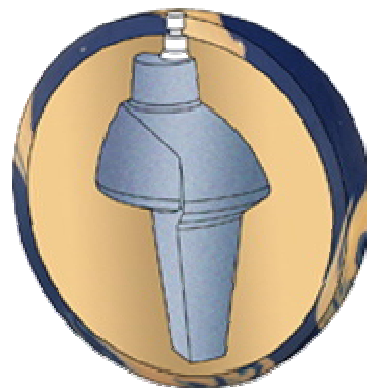
This translation of article is provided by DAIFUKU QubicaAMF under the permission of Joshua Sports & Entertainment, Inc.. Copying/Duplicating/Modifying of this article without the permission by Joshua Sports & Entertainment, Inc. is prohibited.

☉ ボウラーズ ジャーナル インターナショナル

2009年9月号より

ボールデータ

カバーストック	BASF F55
コア	クラッチ [非対称]
カラー	ダークブルー / ゴールドパール
表面仕上げ	4000 番アブラロン + パフ
慣性 (RG)	2.56
フレアポテンシャル	RG 0.044
コンディション	ミディアムヘビー ~ ミディアム
重さ	12 - 16 ポンド



コア ... このコアは、中～高慣性の RG2.56 となっています。フックを遅らせて、レーン先での角度を上げる効果を狙い RG 値を上げるという傾向にある業界のトレンドにマッチしています。フレアポテンシャルはほどよい 0.044 で、約 4 インチほどのフレア幅を提供します。

カバーストック ... F55 の強度は中程度で、ミッドプラス系ではほとんどのスタイルに対応できるミディアムライト～ミディアム用にデザインされています。ネイビーとピーチっぽい色が使われおり、ドライエリアで中程度反応します。オイル上の摩擦も 4000 番 / パフの表面加工を施していることから中程度です。

メーカーのコンセプト ... クラッチのコンセプトは、非対称コアのパフォーマンスをお手ごろ価格で提供するところにあります。手前ではクリーンに走り、ミッドレーンからバックエンドまで継続してはっきりとした軌道を描きます - 必要なときに予測可能な動きを提供するのがクラッチです。

テスト結果 ... クラッチは、スムーズに転がり、ミディアムコンディション上でアーク状の軌道を維持できるボールです。ミディアムコンディションに特化してデザインされたボールなので、極端にドライ / ヘビーなコンディションにはクラッチは不向きです。クラッチのフック力は、サイドウェイズと比較すると平均して板目約 3 ~ 5 枚少なめで、フックの開始も数フィート先で起こります。クラッチは、同じ表面加工のコードに似た動きをします。驚くことに、キャリーダウンしたレーンでは、サイドウェイズよりも良く転がり、35 フィートあたりをややストレート気味に投

げることができました。

推奨コンディション ... フレッシュもしくは崩れたミディアムコンディション(量・長さともに)でお使いください。回転数が少なめの方は、オイルラインの近のポジションから、角度は絞り気味に投げることをお勧めします。高回転数の方は、必然的にオイル側に入って投げるようになりますが、コアとカバーストックの組み合わせのおかげで、極端にインサイドへ寄る必要はないでしょう。PBA、ケーゲル、THS パターンでは、右端から投げると良い結果が得られました。これらのパターンでインサイドへ入りすぎたときは、高アベレージをキープするための入射角度が得られませんでした。キャリアダウンの場合もこれは変わりませんでした。